

# 図書館通信

1月号 宇東図書館委員会

ごきげんようっ！厳冬の候、みなさんどうお過ごしかな？高校時代は人生のターニングポイント！様々な出会いがあなたの人生を変えるかも？一冊の本との出会いがそうかもしれませんね。読書の秋は終わってしまったけど、季節なんて関係ねえ！！図書館に来れば、いつでも読書の春夏秋冬じゃ！

いつでも来てね～。まだ卒業できるかわかりませんが、卒業見込みの僕たちのオススメの本を紹介します。

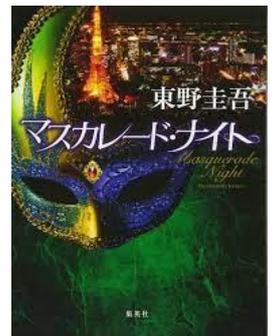


『月の満ち欠け』 作 佐藤正午 出版社 岩波文庫

2017年に第157回直木賞を受賞し、累計発行部数56万部を超えたベストセラー小説です。「愛し合っていたい一組の夫婦」と「許されざる恋に落ちた恋人たち」という、全く関係のないように思われた二つの物語が、数十年の時を経て繋がっていく。それは、「生まれ変わっても、あなたに会いたい」という強い思いが起こした、あまりにも切なすぎる愛の奇跡だった——“もう一度逢いたい”と願う純粋な思いが27年の時を超えて奇跡を起こす作品です。 (3年5組 図書委員)

『マスカレード・ナイト』 作 東野圭吾 出版社 集英社文庫

殺人事件と仮面の謎が解けていくのが面白い。ホテル・コルテシア東京で開催される大晦日のパーティー「マスカレード・ナイト」。都内で起きた殺人事件の犯人が、そのイベントに現れるという匿名の密告状が警察に届く。潜入捜査のために、再びホテルのフロントクラークとして働く羽目になる新田刑事。真面目過ぎるホテル従業員・山岸尚美と再びコンビを組み、犯人の手掛かりを求めて捜査を開始する——。(3年7組 図書委員)



『ツナグ 想い人の心得』 作 辻村深月 出版社 新潮社

様々な立場の人の考えや思いが描かれていて、人を思うことの大切さがわかる本です。突然死したアイドルが心の支えだったOL、年老いた母に癌を告知出来なかった頑固な息子、親友に抱いた嫉妬心に苛まれる女子高生、失踪した婚約者を待ち続ける会社員……ツナグの仲介のもと再会した生者と死者。それぞれの思いをかかえた一夜の邂逅は、何をもたらすのだろうか。 (3年7組 図書委員)

『とんび』 作 重松清 出版社 新潮社文庫

運送業を営んでいるヤス。幼くして家族と離別した彼は、妻が息子を出産したことで幸せな家庭を築く。しかし妻は事故で他界し、父子ふたりの生活が始まる。まわりの助けを借りて息子を育てていくが、母親の死について息子に聞かれたヤスは、嘘をついてしまい……。父と子の感涙の物語です。 (3年6組 図書委員)



どうでしたか？気になる本は見つかりましたか？今回は3年生オススメの本をご紹介しました。この他にも、図書館にはオススメの本がたくさんあります。ぜひ足を運んでみてください。